



MORITA REPORT 2010

株主・投資家のみなさまへ

第78期中間報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで



**MORITA**

証券コード:6455

# モリタ トピックス

## ■ “世界のモリタ” へ!

モリタは、本年8月に韓国で開催された「第7回大韓民国国際消防安全展」と、本年10月に中国北京で開催された「第14回国際消防設備技術交流展覧会」に相次いで出展。MLK型はしご車と林野火災用コンセプトカーを披露し、モリタの技術力と発想力を世界に発信いたしました。なかでも森林火災の最前線で消火戦術を指揮するために開発した林野火災用コンセプトカー（表紙）は、本年6月にドイツで開催された世界最大級の消防防災展INTER SCHUTZ2010に続いての出展で、テレビや新聞、ニュースサイトでも紹介され、躍動的なフォルムと可能性を秘めた機能に注目が集まりました。



同じく8月、西アジアのアルメニアにはしご車2台、化学車24台、水槽車2台の計28台を納入。納入先の首都エレバン市では、アルメニアの副首相、消防大臣、市長らが参列する盛大な納車式典が開催され、現地テレビ局で大々的に報道されました。そして、7月末から発生していたロシアの大規模林野火災の応援に納車間もないモリタ製消防車が参加、即戦力として見事な消火活動を成し遂げました。



## ■ 消火器破裂事故“ゼロ”化への挑戦

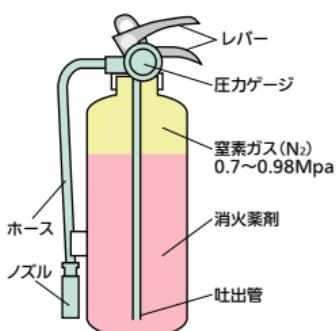
昨年、大阪市の屋外駐車場において、老朽化した加圧式消火器が破裂し、子供が重傷を負うという事故が発生し大きな社会問題となりました。加圧式消火器の破裂事故は、主に不十分な保守管理のもとで、経年による腐食が進んだものを操作、廃棄処理しようとする際に発生しています。

当社グループでは、古い消火器の安全な回収とリサイクルを進めると同時に、腐食しにくく安全性の高い消火器を生産してまいりましたが、消火器の破裂事故に伴う人的被害の大きさや、それに繋がる過酷な設置環境・不十分な管理状態を想定すると、破裂事故のリスクが少ない安全な“蓄圧式消火器”的普及がこれまで以上に必要であると考えます。蓄圧式消火器は、本体容器が老朽化した場合も内圧が上昇することが無く、圧力が容器外に漏れる構造が特徴です。当社グループは、この蓄圧式消火器の生産設備を増強することを宣言し、消火器破裂事故の撲滅を目指します。



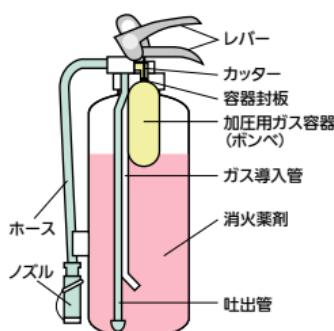
### 蓄圧式消火器

本体容器に圧力が蓄えられている消火器



### 加圧式消火器

使用するときに初めて圧力が加わる消火器



## ■ 町の「はたらく車」を一新 エコパネル式バキュームカー “EP-2”

モリタエコノスは、魅せる発想にこだわったエコパネル式バキュームカー “EP-2”を開発しました。筒型タンクや巻取りホースといったバキュームカーの外観をスタイリッシュなパネルで一新し、作業性とメンテナンス性にもこだわった、地域社会に調和できる車両を販売いたします。外装のエコパネルは、新たに生産する車両にだけでなく、現在使用中の車両にも取り付けることが可能です。

下水道整備による水洗化に伴い、衛生車両バキュームカーの需要は減少傾向にありましたが、近年、水処理技術の向上により、浄化槽による水洗化が見直されてきており、その浄化槽に発生した汚泥の定期清掃のために使用されるバキュームカーについても、改めて重要性が見直されています。

エコパネルでグレードアップとイメージアップされた新しい「はたらく車」の活躍をご期待下さい。



## トップメッセージ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

このたび、当社第78期の中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申しあげます。

## 営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、景気刺激策により一部に景気の持直しの動きが見られたものの、円高・株安傾向などの不安材料から先行き不透明感を払拭できず、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進と新規商品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、消防車両事業において国の補正予算に伴う前期末からの受注残が売上に寄与したことにより、売上高は前年同期比1,477百万円増加し、21,926百万円(7.2%増)、営業利益は209百万円(前年同期は380百万円の損失)、経常利益は317百万円(前年同期は352百万円の損失)となりました。また、四半期純損益は、投資有価証券評価損462百万円等を計上したことにより、31百万円の四半期純損失(前年同期は654百万円の損失)となりました。

なお、当社グループのセグメント別では、消防車両事業の売上高は9,434百万円、営業利益は484百万円。防災事業の売上高は5,923百万円、営業損失は39百万円。産業機械事業の売上高は1,229百万円、営業損失は117百万円。環境車両事業の売上高は3,992百万円、営業利益は99百万円。自転車事業の売上高は1,346百万円、営業損失は191百万円となりました。

## 今後の見通し

以上のとおり、当第2四半期における当社グループの業績は消防車両事業においては概ね堅調に推移いたしましたものの、その他の事業においては全体的に厳しいものとなりました。引き続きわが国経済は予断を許さない状況が続くものと思われますが、今後も積極的な営業活動に努めるとともに、原価低減及び生産の効率化を推進し、収益確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年11月

代表取締役社長 中島 正博



林野火災用コンセプトカー

# 連結財務諸表

## ●四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (平成21年9月30日現在)	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			
流 動 資 産	31,059	31,325	36,269
固 定 資 産	37,585	35,607	36,789
<b>資 産 合 計</b>	<b>68,644</b>	<b>66,933</b>	<b>73,058</b>
<b>負 債 の 部</b>			
流 動 負 債	24,190	16,736	25,495
固 定 負 債	15,501	19,132	16,260
<b>負 債 合 計</b>	<b>39,692</b>	<b>35,869</b>	<b>41,756</b>
<b>純 資 産 の 部</b>			
株 主 資 本	30,062	32,349	32,608
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,743	3,743	3,743
利 益 剰 余 金	22,539	24,888	25,142
自 己 株 式	△967	△1,028	△1,023
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>△1,432</b>	<b>△1,737</b>	<b>△1,644</b>
その他の有価証券評価差額金	181	105	150
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	13	△37	△15
土地再評価差額金	△1,600	△1,728	△1,728
為替換算調整勘定	△26	△76	△50
少 数 株 主 持 分	322	451	338
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>28,952</b>	<b>31,063</b>	<b>31,302</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>68,644</b>	<b>66,933</b>	<b>73,058</b>

## ●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売 上 高	20,449	21,926	61,737
売 上 原 価	15,669	16,650	47,300
売 上 総 利 益	4,779	5,276	14,437
販売費及び一般管理費	5,160	5,067	10,213
営 業 利 益	△380	209	4,223
営 業 外 収 益	212	266	628
営 業 外 費 用	185	157	347
経 常 利 益	△352	317	4,503
特 別 利 益	55	84	69
特 別 損 失	290	509	579
税金等調整前四半期 (当期)純利益	△587	△108	3,993
法 人 税 等	77	△70	1,935
少 数 株 主 利 益	△10	△6	13
四半期(当期)純利益	△654	△31	2,044

## ●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,551	1,010	764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△561	138	△950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△407	△569	△4,037
現金及び現金同等物の増減額	△5,521	579	△4,224
現金及び現金同等物の期首残高	9,200	4,976	9,200
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,679	5,556	4,976

# 会社の概要

(平成22年9月30日現在)

## 概要

商 号	株式会社モリタホールディングス
創 業	明治40年4月23日
設 立	昭和7年7月23日
資 本 金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

## グループ会社

株式会社 モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
株式会社 モリタ防災テック	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 〔消防器を中心とした各種防災機器の販売、防災設備の設計施工並びに保守点検〕
株式会社 モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売〕
株式会社 モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売〕
株式会社 モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕
宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消防器を中心とした消火関連機器、消防装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売〕
株式会社 ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔各種自転車の開発・販売〕

株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社 アルボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 モリタユージー	東京都千代田区神田須田町2丁目3番地5
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧経済技術開発区 天元中路188号
四川森田消防装備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡两岸科技园新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	香港中環夏慤道10号和記大廈1909室
MORITA VIETNAM COMPANY LTD.	Minh Duc Commune, My Hao District, Hung Yen Province, Vietnam

# 株主メモ

## ■ 株式のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 每年3月31日 中間配当金 每年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.morita119.com/kohkoku/index.html">http://www.morita119.com/kohkoku/index.html</a>
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



The screenshot shows the homepage of the Morita Holdings website. The top navigation bar includes links for Home, English, News, IR, Products, and Services. The main content area features a circular diagram with various business segments like Construction Equipment, Industrial Equipment, and Others. Below this is a text box with a message about the company's commitment to environmental protection. The bottom section contains a sidebar with links to news, IR, products, and services, and a main content area with a bar chart titled '業績の推移' (Performance Trend) comparing financial years 16, 17, 18, 19, and 20. The chart shows revenue and profit figures for each year.



The screenshot shows the homepage of the Morita Net Shop website. The top navigation bar includes links for Home, English, News, IR, Products, and Services. The main content area features a grid of products, including a 'MORITA' t-shirt and a 'MORITA' mug. The sidebar on the left contains links for Home, English, News, IR, Products, and Services, as well as a 'Customer Support' section with links for Contact, Inquiry, and Order Status.

モリタオリジナルグッズ通販サイト  
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

**MORITA**

株式会社モリタホールディングス

大阪本社 〒544-8585 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 ☎06-6756-0100  
東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



環境に配慮して大豆油  
インキで印刷しています。



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、  
弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう  
配慮をしています。